クリニカルパスウェイ
婦人科化学療法 を受ける患者さんへ

患者番号 @PATIENTID　　**患者氏名** @PATIENTNAME

2022年 8月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

	入院前	入院日(化学療法前日)	化学療法当日	退院日	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日　時頃	月　日	
目標	□化学療法が安全に行えるように心の準備が整う		□化学療法が安全に受けられる □副作用の症状を理解できる	□問題なく退院できる	□副作用の出現に見合った生活を送ることができる
食事	□生もの、貝類は避けましょう	□午後入院となるため、昼食は済ませてくるか、持参をお願いします	□吐気がある場合は、無理をせず食べたい時に食事をとりましょう □食べやすいものなど病院の食事でも工夫できることがあります、無理せず看護師にご相談ください □病院食以外のものを食べる際は、看護師にお知らせください □腎臓の機能保護のため、こまめに水分補給を心掛けましょう 		
活動	□手洗い・うがいなど感染予防につとめましょう		□抗がん剤の治療中はベッドで安静に過ごします	□特に制限はありません →	→
検査処置		□外来で診察があります □コロナ検査・採血・心電図・レントゲンの検査結果の確認後、入院となります □身長・体重を測定します 	□点滴の針を挿入します □0時から尿量と飲水量の測定を開始します(対象者のみ) □体重測定をします □心電図モニターを装着することがあります(初回・2回目は全員必須)	□点滴の針を抜きます □体重測定をします	
薬			□内服は医師の指示に従って内服しましょう	□内服は医師の指示に従って内服しましょう 	
清潔		□入院後シャワー浴が可能です → 	→		
指導説明			□点滴の入っている部分が赤くなったり痛みがある際は看護師にお知らせください □抗がん剤開始直後に息苦しさ・かゆみ・発疹・熱っぽさなどの症状が現れる場合があります。症状が出現した場合はすぐにナースコールを押し、医師・看護師をお呼びください	□化学療法後から数日間、吐き気・嘔吐・食欲低下が出現することがあります。症状の現れ方は個人差がありますが1週間程度で改善していきます。症状が辛い、食事摂取量が減るなどの場合はお知らせください	□抗がん剤投与10日目頃より、白血球(好中球)、血小板などを作る働きが低下してきますが、3週間程度で回復してきます ＊白血球(正常値:4500～8500)が減少すると、細菌と闘う力が弱くなり感染しやすい状態になります。そのため、発熱・感冒症状・口内炎・下痢などの症状が起こる可能性があります ＊血小板(正常値:15万～35万)が減少すると、あざができたり切り傷などで出血した時に血が止まりにくくなります □退院後の日常生活の留意点 ＊手洗い・うがいをこまめに行う ＊歯ブラシは、やわらかい毛質のものを使用する ＊シャワー浴・入浴を行い清潔を保つ ＊脱毛がある場合は、シャンプーを泡立ててから優しく洗い、毛先のやわらかいブラシを使用する